

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1959
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.52, No.5 (1959. 5)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19590501--001">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19590501--001</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 三田學會雜誌

慶應義塾經濟學會

五月号

<p>論 說</p> <p>近世農政思想の一考察……………島崎隆夫(一)</p> <p>—— 幽谷の場合 ——</p> <p>国有化産業における価格・産出量政策……………丸尾直美(三)</p> <p>産業別・規模別分配率の分析……………西川俊作(六)</p> <p>—— 産業スケクトル論序説 ——</p>	<p>資 料</p> <p>A・グラントの中間階級論……………白井厚(六)</p> <p>寡占と加入の条件……………原豊(七)</p> <p>—— 大規模の経済を中心に ——</p>	<p>書評及び紹介</p> <p>経済学関係文献目録</p>
---	---	--------------------------------

第五十二卷

第五号

昭和三十四年五月十一日  
昭和三十五年四月二十四日  
発行(毎月一日発行)  
第三種郵便物認可

昭和三十五年四月二十四日  
昭和三十六年三月十一日  
発行(毎月一日発行)  
第三種郵便物認可

三田学会雑誌

昭和三十四年四月号

定価 金九〇円 (送料別)

# MITA GAKKAI ZASSHI

(Mita Journal of Economics)

Vol. 52. No. 4

April, 1959

## CONTENTS

Comparative Study on Small-Medium Enterprise Problem of Japan .....	Page T. Ito (1)
On the Regulating Price of Production in Agriculture A Study on the Second Form of Differential Rent .....	M. Tokiwa (27)
A Consideration on Some Problems in the Theory of Modern Nationalism Historical Development of "Nation" and the Actual Leading Class of its Movements .....	A. Shirai (48)
Documents and Materials of the History of German Working Class Movement (1) On the Appreciation of "Opportunism" in „Der Ausbruch des ersten Weltkrieges und die deutsche Sozialdemokratie, Chronik und Analyse," von Jürgen Kuczynski .....	K. Iida (64)
Japanese Fisheries Policy from 1925 to 1935.....	R. Takayama (80)
Reviews and Notes	

Published for  
KEIO-GIJUKU KEIZAI GAKKAI  
(The Keio Economic Society)  
Editorial communications to be sent to  
the Editor, Keio-Gijuku Keizai Gakkai,  
Keio-Gijuku University,  
Mita, Minato-ku, Tokyo, Japan.  
Price 90 yen

書評及び紹介

安藤精一著

『近世在方商業の研究』……

速水 融(七)

エリーカ・ケーニツヒ著

『ドイツ社会民主党と経済独占の到来』……

正田庄次郎(七)

ドナルド・リード著

『ピーターラー——虐殺とその背景』……

飯田 鼎(八)

近世農政思想の一考察

——幽谷の場合——

島崎隆夫

「本多利明の農政論—その前提—」(三田学会雑誌)第五十一巻  
第五号)及び「本多利明の農政論(続)—その経済政策の性格—」  
(三田学会雑誌)第五十一巻第十号)の二抽論において、本多利明  
(寛保三年—文政三年・一七四三—一八二〇)の農政論について考  
察して来た筆者は、いわゆる「四大急務、小急務、三慮」等の施策  
の中に見出された経世策を利明が樹立するに至った現実的根拠とし  
て、急迫しつつあった対外関係の発生と共に、当時の国内社会経済  
事情乃至政治情勢の重大化を指摘した。利明が生存した寛保三年よ  
り文政三年に至る時代は、いわゆる「田沼時代」より松平定信の  
「寛政の治」を経て「文化・文政の大御所時代」に至る時期であっ  
て、心ある識者にとっては、まことに容易ならぬ時代として目に映  
じはじめていた。利明の活躍の舞台であった国内事情及び国際関係  
と同じ現実が、筆者がこの抽論において考察せんとする水戸学派の

第二期、六世文公、七世武公の世に、後期水戸学の基礎をおいたと  
いう意味においても極めて重要な役割を演じ、とくにその農政思想  
において注目すべき著作たる「勸農或問」(寛政十一年・一七九七)  
を書いた藤田幽谷(安永三年—文政九年・一七七四—一八二六)の  
経済思想とくに農政に関する諸献策を生み出したのであった。幽谷  
の経済思想は利明等を生み出したその同一の国内及び国外事情を背  
景に、当時の諸思潮の中に形成・発現したものであるが、より具体  
的には、幽谷をつつむ水戸藩に伝わる義公以来のいわゆる「水戸  
学」の思想的土壌と、徳川御三家の一つであるという特殊な政治的  
地位と、水戸藩領が関東地方における一地方として持つ社会経済的  
構造とその発展との関連の下に生まれたものである。幽谷によって  
示された経済思想とくに農政思想が、利明に現われたそれとはおの  
ずからその視角を異にし、その献策の内容をいちじるしく相違する  
結果となったことを見逃す事は出来ない。また幽谷の思想は水戸学  
の「尊王論」「攘夷論」の発展史上において重要な役割をなし